ジェルこまち中国四国支部『ま♡どんなの会』

オープンハウスレポート

開催日：2025年3月21日

会場：ホームサービス株式会社 植木社長邸

一家族の絆を深めるリノベーション

2025年3月21日、「ジェルこまち」中国四国支部『ま♡どんなの会』主催によるオープンハウスが開催されました。今回の会場となったのは、支部長であるホームサービス株式会社 植木社長のご自宅。ご自身が実際に暮らす住まいを公開し、リノベーションの可能性と魅力を体感できる貴重な機会でした。

私も当日、レポーターとして現地を訪問しましたが、そこに広がっていたのは、「家族との時間を大切にしたい」「住まいに自然の営みを取り入れたい」という、植木社長ならではの思いが丁寧にデザインされた空間でした。

■ 光と景色を味方にする“2階リビング”

植木邸の最大の特徴は、2階に配置されたリビング・ダイニング。

この設計によって、日の出から日の入りまで、刻々と変わる光と空の表情を、まるで一枚の絵のように楽しめるようになっています。

大きく切り取られた窓は、ただの開口部ではなく「景色のフレーム」。

室内にいながら、自然とつながる心地よさを感じさせてくれる工夫に、こまちメンバーからも感嘆の声が上がっていました。

■ 「家族の居場所」と「自然の気配」をつなぐ

もうひとつ印象的だったのが、敷地の裏側に配されたプライベートガーデンの存在。

寝室や子ども部屋からは、低い位置の窓越しに植栽が見えるように設計されており、家の中においても“庭の気配”が常にそばにあります。

それは、日々の忙しさの中でホッと心がほどける瞬間を生み出してくれる、まさに「暮らしに癒やしを添える」設計です。

■ 敷地を読み解き、風と光をデザインする

今回のリノベーションは単なる間取り変更ではなく、敷地そのものの特性を深く読み込んだ上で設計がなされていました。

通風や採光のバランスを徹底的に考え、開けるべき場所には大胆に窓を設け、風の通り道となるラインを住まいに組み込んでいます。

「建物の中で自然がどう流れるか」まで意識された設計は、まさにプロならではの技と配慮を感じさせてくれました。

■ 暮らしを見つめ直すきっかけに

図面では分からない空気感。写真では伝わらない居心地の良さ。

実際にその場に立ち、手で触れ、光と風を感じることで、リノベーションがもたらす「豊かさ」の輪郭がくっきりと見えてきます。

植木社長をはじめ、『ま♡どんなの会』のメンバーによる、心のこもった案内や運営も含めて、とても温かく、学びの多い1日となりました。

住まいを変えることは、家族との関係や人生の時間を見つめ直すことでもある。

そんな大切な気づきを、このオープンハウスは私たちに届けてくれたように思います。

■ ジェルこまちとしての想い

私たち「ジェルこまち」では、住まいづくりに関わる女性たちがそれぞれの経験や視点を持ち寄り、「暮らしに寄り添うリフォームとは何か？」を常に探求し続けています。

今回のように、実際の住まいを見学しながら、空間の工夫や設計の意図を共有し合うことは、参加者全員の大きな学びとなり、プランニングの引き出しを増やす貴重な時間でもあります。

これからも『ま♡どんなの会』では、こうした**オープンハウスや交流の場を積極的に企画・開催し、女性ならではの感性と専門性を活かしてリフォームの魅力を広げていきたい**と考えています。

“住まい”を通じて、もっとあたたかく、もっと豊かな暮らしを提案できるように、これからも私たちジェルこまちは一歩ずつ歩んでまいります。